

# Publicity Report

新聞・インターネット・情報誌などで  
紹介されたミックの記事のご紹介

**mic**  
House & Life

[ミック]グループ 株式会社三春情報センター

**【タウンニュース】 2021年4月22日(木)掲載 (発信:株タウンニュース社)**

神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙

**タウンニュース**

金沢区・磯子区版

掲載号：2021年4月22日号



あしたタウンプロジェクト

## 法人化で新たな一歩

micが並木ラボを運営

社会

横浜市立大学や横浜市住宅供給公社が中心となり金沢シーサイドタウンの活性化に取り組んできた「あしたタウンプロジェクト」が4月から新たな体制で再出発した。3月1日付で「一般社団法人金沢シーサイドあしたタウン」を立ち上げ、並木ラボを拠点とし、「若い世代を増やし持続可能なまちにすること」を目指し活動していく。



今後について話し合う理事ら

11人の理事のうち、並木ラボ利用者や連合自治会の理事ら地域住民が半数以上を占める。代表理事を務めるのは、ふなだまりgionbune公園愛護会の高島哲代表と市大の中西正彦教授。月1回程度、理事会を実施していくという。

### 7月にリニューアル

並木ラボは国の「地(知)の拠点整備事業」に選定され、2014年に設置。18年から3年間は市大の事業として運営し、市住宅供給公社や行政、企業、地域住民らと「横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会」を立ち上げ、街の活性化に取り組んできた。

20年度に市大としての事業が終了するため、以前から拠点の存続や運営について話し合われてきた。そこで並木ラボの運営に名乗りをあげたのが(株)三春情報センター(mic)だ。地域活性化や地域貢献を営業活動の一環と捉え拠点運営を担う。micの担当者葵俊亮さんは「地域の皆さんが発展的に関わり、循環して賑わっていくような魅力ある地域づくりをしたい」と話す。ラボにカフェエリアや住空間の展示スペースも設置し、7月頃リニューアルオープンする予定だ。

あしたタウンプロジェクトは、横浜市金沢区にある金沢シーサイドタウンの課題解決、活性化を目的として、横浜市立大学と横浜市住宅供給公社が事務局となり2018年に始動したプロジェクトです。

2018年より構成メンバーの一企業としてミックも参加しており、20年度に事業終了した横浜市立大学にかわり、今期より運営を行っていくこととなりました。

地域密着企業として、並木ラボを拠点に地域活性化のお手伝い、よりよい街づくりに貢献していきます。

本件が、タウンニュースに掲載されました。



ミックくん